

様式第1号（第5条関係）

会議概要

会議の名称	平成30年度第2回久喜市生涯学習推進会議
開催年月日	平成31年2月21日（木）
開始・終了時刻	午前10時00分 から 午前11時50分 まで
開催場所	久喜市教育委員会 会議室
議長氏名	平 忠昭
出席委員（者）氏名	明石實正、飯島栄治、伊東堯司、井上日出子、金子雄司 川島孝、後藤悦子、平 忠昭、田沼勝子、朝武紀雄、 原嶋憲二、古谷郁男、丸簪正樹、丸山道子、宮内智、 森田剛夫、諸橋美津子、山谷博
欠席委員（者）氏名	杉田栄子、長島一枝
事務局職員職氏名	海老島生涯学習課長、布施生涯学習課長補佐兼係長、 尾柴主任、中川西主事
会議次第	○平成30年度第2回生涯学習推進会議 （1）平成30年度生涯学習推進部活動報告について ① 生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について ② 各部会について （2）平成31年度活動計画・活動方針について ① 活動方針 ② 活動計画 ③ 生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」について （3）生涯学習を生かした「まちづくり」について ① コミュニティ・スクールを核にした「地域づくり」
配布資料	・平成31年度活動計画・活動方針について（生涯学習推進部） <b>資料1</b> ・平成31年度生涯学習推進部年間計画 <b>資料2</b> ・第10回まなびすとフォーラム「テーマ」検討の件 <b>資料3</b> ・「人生100年時代を楽しむ」×「地域デビュー」川柳コンテスト入賞作品 <b>資料4</b> ・久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」第17号
会議の公開又は非公開	公 開
傍聴人数	0 人

様式第2号（第5条関係）

審議会等会議録

発言者	会議のてん末概要
尾柴主任	<p>皆さんおはようございます。それでは定刻になりましたので、ただ今から、平成30年度第2回久喜市生涯学習推進会議を開催いたします。</p> <p>本日は、お忙しい中、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。私は、本日の司会を務めます生涯学習課の尾柴と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、ただいまの出席者は、16名でございます。この人数は、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第2項の規定に基づく定足数に達しておりますので、ご報告申し上げます。</p> <p>なお、本日は、杉田委員、長島委員から所用のため、欠席する旨の連絡をいただいております。また、丸瀨委員、森田委員から所用のため遅れる旨の連絡を頂いておりますので重ねてご報告申し上げます。</p> <p>それでは、次第に従いまして、平議長からご挨拶を申し上げます。</p>
平議長	<議長あいさつ>
尾柴主任	ありがとうございます。続きまして、海老島生涯学習課長からあいさつを申し上げます。
海老島課長	<課長あいさつ>
尾柴主任	<配布資料の確認及び説明>
尾柴主任	<p>もし、お手元に資料がない方がいらっしゃいましたら、事務局までお申し付けください。</p> <p>それでは、次第に従いまして、議題に入りたいと思います。議事の進行につきましては、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第1項の規定に基づきまして、平議長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
平議長	<p>それでは3の議題に入りたいと思います。まず（1）の平成30年度生涯学習推進部活動報告についてです。まず始めに先ほど申し上げました2月2日、3日に行われました生涯学習研修大会「まなびすと久喜」の中心的な役割を果たしてくれました宮内委員長からご報告お願い致します。</p>
宮内委員	<p>第9回生涯学習推進大会「まなびすと久喜」は、2月2日、3日の両日に中央公民館にて開催されました。推進会議の皆様にも実行委員並びに当日ボランティアとしてご協力いただきましたことに対して、まずは御礼申し上げます。他にも中学生、高校生、校友会、一般の方々、そして生涯学習課の皆さんのご協力に対しましても感謝申し上げます。第1日は開会式と基調講演とパネルディスカッションを行いました。文教大学の人間科学部栗原保先生に「新たな学びの発見！広がる学びの輪」のテーマに沿って講演を頂きました。今、スライドで色々流れていますので、そちらをご覧ください。「学びのヒントは、学んだことを地域に行動で示すことが大切だ」ということで、ホワイトボードを使用して、分かりやすく説明が行われました。また、現在、実施されておりますコミュニティ・スクールの小・中学校の総合的な学習の時間の授業が新たな学</p>

びの輪に繋がるというお話を頂きました。先生のお話の最後に「さあ始めよう、好きなことをあなたらしく自分らしく」。これを実践すれば良いのではないかという先生の話がありました。また、この基調講演の後にパネルディスカッションが、久喜北陽高校生、それから市民大学2年生、ゆうゆうプラザの実施委員長の方、それから高大校友会の方の4名と基調講演の栗原先生もご参加いただきまして、テーマに沿ったご意見を色々と発表いただきました。新たな学びは、市民大学でのコミュニケーションづくりからというのが校友会の方、子供と一緒に楽しくやろうというのがゆうゆうプラザの方、生涯学習は人を介してのコミュニケーションの循環、これは市民大学の2年生の方でした。また、学校と地域が久喜の文化を広げようという形で、高校生のお話など、パネラーの方から、各々のたくさんのご意見をいただきました。聴衆の方が生涯学習とは新しい知識の習得、生きがいを目的に生涯学習を行う学習であることを目指して、学校・地域・家庭が各々手を取り合って普段の生活の中に新たな学びを見つけていただく動機付けになれば、パネラーの成果が良かったのではないかと思います。以上が1日目の事業でございました。2日目のイベント発表会でございますが、2年越しと言いますか、各地区という形で、内容も従来の展示それから、物づくりが大半でございましたけれど、今回初めてドコモ久喜中央店さんの協力をいただきまして、「スマホの体験」ということで、スマホの使い方等について、説明する場所を設けました。あと、オリンピック・パラリンピックの展示ということで、前回の時にパネラーになっていただきました酒井園実さんのアジア大会幅跳び第3位という実績について展示を行いました。当日は天候にも恵まれまして、また風もなく本当に良かったのですが、先ほど議長からお話がありましたが、来客数が3,100名ということで実行委員長から聞いておりますので、大変楽しく、また盛大に開催することが出来ました。屋外では例年ですけれど、手打ちそば、それから今回は焼きそばに代えまして、肉まん、安倍川もちの販売を行いました。また4階では、喫茶コーナーということで、コーヒーやジュースの販売、それから、幸手学園さんのご協力をいただきまして、パンの販売も行いましたけれど、屋外それから、4階の喫茶コーナー等も計画どおり完売することができました。これは、本当にありがたいことでした。また発表会や各イベントにボランティアとして、中学生、高校生49名の参加をいただきまして、大いに活躍していただきました。今後の開催につきましても、ぜひ中学生、高校生の参加をいただいで実施していくつもりでございます。発表会の会場は中央公民館の大集会室ということなので、会場が狭く設備も十分ではありませんでしたが、聴衆の方は、いつの時間に行っても、満席で大変盛大に出来たと思っております。しかし、色々と問題点もございまして、推進部委員、それから市民大学生も少なく、実行委員会にも不参加の方がおまして、今後の会の運営に支障をきたすこともありまして、心配される状況にあります。また各フロア長、それから市民大学生の実行委員の方と話す機会も少なかったために、計画書の作成、実施計画の作成がスムーズに進まなかったフロアもあっ

	<p>たと聞いております。また、資材運搬の準備、搬入があったのですが、生涯学習課の方、それから各校友会の方々等に色々手配いただきまして、計画通りに進んだのですが、最後にパネル等の撤去時に不手際がありまして、施設の物を壊してしまいまして、これは、大変申し訳なく思っており、現在、修理の手続き等について準備しているところでございます。</p> <p>今後の「まなびすと久喜」の開催につきましても次回は、鷺宮西コミュニティセンターのおおとりと鷺宮体育センターを予定しております。先ほど、課長からお話がありましたとおり、本来4月に生涯学習センター開設ということで、事前の計画をしていたのですが、今、残念ながら断念せざるを得ない状況にあります。今後の「まなびすと久喜」の実施計画の推進には、ぜひ生涯学習推進会議の委員の皆様、また推進部と早急に検討部会を設けまして、次の実施に向けて準備したいと思っておりますので、どうぞよろしく願いたいと思います。簡単ですが、2日間の「まなびすと久喜」を終えての報告とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
平議長	<p>ありがとうございました。スライドを見ながらお聞きいただいたと思いますので、どういう状況だったのかというのが、お分かりいただけたかと思えます。先ほど申し上げましたが、昨年の9月に実行委員会を立ち上げて、それから2月2日までという長い期間、ご努力いただきましてありがとうございました。この推進会議のメンバーの皆さんの中で約4割の方がご協力いただきました。そのことも含めてお礼申し上げます。ただ、毎度、申し上げておりますとおり、これは推進会議の主催ですので、本来は全員が何らかの形で参加していただく、関与していただくというのがベターなのかなと思います。このあと、6月にフォーラムも行います。その時にもこれも主催は推進会議ですので、どのような形でも結構ですから関わりを持っていただきたいと思います。それでは、今の宮内委員長からの報告について、ご意見やご質問などはございますか。</p>
後藤委員	<p>意見ではないのですが、当日3日の天気、今までにないくらい穏やかで暖かい日であったので、それで皆さん足を運んでいただいたのかなと思います。本当に皆さんの心がけが良かったのかなと思います。次の日曜日は雪でした。宮内委員長が本当に分かりやすい説明をいただきまして、ありがとうございました。</p>
宮内委員	<p>雨を心配していたのですが、私も委員長を始めてから、神社にお参りに行きまして、当日は必ず晴れてくれるようにいつもここ3回位は行っております。本当に3日の日は風もなかったので、テントを張っておりますので、いつも風除けなどを作ったり、重しを置いてテントが飛ばないようにやっていますが、今回は本当にそれがなくて、屋外のほうは楽しくできたと思います。ありがとうございました。</p>
平議長	<p>いつも反省の意見として、なぜ2月に開催するのかというのが、いつもあります。色々な事情で何度も検討して、この時期に開催するわけですが、今、申し上げましたように、寒さ、雪、風などが非常に問題でして、旧久喜市の大会を含めると、通算36～37回目の大会でして、もう少しで40回目を迎えようかという大会になります。生涯学習センターの開設が延びたわけですが、それができる時には、華々しく</p>

	<p>通算40回記念をできるといいなと思っております。皆さん他にご意見はございませんか。</p>
金子委員	<p>生涯学習センターもそのうち出来ると思えますけれど、「まなびすと久喜」の関係なのですが、合併して4地区一巡いたしましたして、二巡目に入っております。合併してその頃は、私は本部長をやっていたので、その時の考えをお話しますと、1つが4地区、生涯学習がどの位浸透しているのか、そういったところで地域差、温度差があるということで「まなびすとフォーラム」を4会場の持ち回りにいたしました。それから、「まなびすと久喜」は、推進部の方が中心で動いておりましたので、新しい方が結構いらっしゃるということで、そのような方を育成しないといけないということで中央公民館、鷺宮、中央公民館、菖蒲、中央公民館、栗橋そのような順番でやってまいりました。一巡しまして、二巡目に入りましたので、このまま今までどおりの順番でいくのか、それともここで、4地区をオリンピックではないですけど、今回が中央公民館、次は鷺宮、次に菖蒲とするのか、そのあたり、これから検討が必要になってくると思います。各地区を回っていくのは、そういうメリットがございますし、また、「まなびすとフォーラム」の旧久喜のときも中学校で開催したこともあるのですが、たまたま高校の方をお願いに行きまして、学生食堂それらを利用して、結構人数が入るということで進めていったのですが、高校が会場になると、その地元の高校生が結構参加してくれます。そういったところの交流が深まって、「まなびすと久喜」の方にも、結構中学生、高校生が今、参加しておりますので、このあたり会場については、また後で検討課題になると思いますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。久喜市全体の生涯学習、これを広げていくための推進会議主催のイベントでございますので、ご理解、ご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
平議長	<p>ありがとうございました。その他に皆さんからご意見等ございませんでしょうか。いずれにしても成功裏に終わったということをご報告申し上げます。次の議題に入りたいと思ひます。それでは推進部には、3つの部会があります。企画・学社連携部会と広報部会と研修部会がございます。それぞれの部会の活動をどのようにやってきたかについて、各部会の方からご報告をお願いしたいと思ひます。まず、企画・学社連携部会につきましては、明石委員の方からお願いいたします。</p>
明石委員	<p>企画・学社連携部会の明石實正です。よろしくお願ひいたします。「まなびすと久喜」と同時にもう1つイベントがございます。それがこれから始まる6月8日の「まなびすとフォーラム」です。皆さんにはA4版で昨年の前回会議でお配りしたと思ひます。このような「まなびすとフォーラム」という報告書を出して皆さん方に、このようなものを作ってまずよと、これを地元に戻って広めていただきたいと、そのような意図をもって進めてきております。昨年の計画というか、実施したことは、大体このようなところがございます。以上です。</p>
平議長	<p>ありがとうございます。続きまして広報部会の田沼委員の方からお願いいたします。</p>
田沼委員	<p>広報部会の田沼と申します。よろしくお願ひいたします。お手元に「久喜市生涯学習だよりまなびすと久喜第17号」があるかと思ひます。そちらをご覧いただきたいと思ひます。広報部会の主な仕事は、「久喜市生涯学習だよりまなびすと久喜」の発行を行っております。現在ですが、部員は7名、そしてこの学習だよりは年2回の発行となっております。</p>

	<p>おります。全戸配布になっておりますので、皆様お手元に届いてご覧になっていただいているかと思いますが、8月1日発行号、それと1月1日発行号の年2回になっております。ただし、来年度からでしょうか。区長さんが配布する広報紙等が、今までの月2回から、月1回に変更になるということらしいですね。その関係だと思いますが、次回の8月1日発行号は、7月15日に発行するというようになっております。発行するにあたって、部員7名が編集会議ということで発行にいたるまで、4回から5回の編集会議を行っております。皆さんに今回はどのような記事を掲載しようか、また記事の掲載が決まりましたら、分担を決めて、原稿依頼をして、それを編集した後に、それを持ち寄り、印刷業者へ発注、その後初校や再校という形で7名の部員で原稿をチェックいたしまして、全戸配布という流れになっております。大体の形式ですが、1面は巻頭言、下の部分が17号から、久喜市内の学校紹介ということになりました。今までは生涯学習施設の紹介をしていたわけですが、大体、久喜市内の生涯学習施設は、十分に紹介が終わったということで、17号から市内の学校の紹介を行っております。2面、3面は特集ということで、私たち広報部員が知恵を発揮しまして、皆様に十分に生涯学習について、より理解を深めていただくコーナーとして、色々な形で、参加をしていただけるようなコーナーにしようということで、色々話し合いました作成しております。そして4面は、サークル紹介そして下段の方には、生涯学習の2大イベントの紹介、そのようなものを行っております。こういう形で広報部会は皆様に、生涯学習だよりをお手元に届けているということで、推進会議の皆様には、生涯学習についての理解を深めていただき、ご意見を広くいただきたいと思っております。それを参考に私たちも作成を進めていきたいと思っておりますので、ご意見、ご感想などをお寄せいただければ大変ありがたいと思っております。よろしく願いいたします。以上です。</p>
平議長	<p>ありがとうございます。それでは最後に研修部会ですけれど、研修部会の部会長は杉村さんですけど、今回「まなびすと久喜」の実行委員長ですが、本日は見えておりませんので、代わりに宮内委員長から報告していただきます。</p>
宮内委員	<p>研修部会でございますけれど、研修部会の主な事業は3つございまして、市民大学生との合同研修会、これは昨年の場合ですと、5月26日に中央公民館で行いました。この合同研修会は何かということですが、6月に毎回行われています「まなびすとフォーラム」ですね。市民大学生に内容を知っていただくということで実施している事前勉強会でございます。「まなびすとフォーラム」と同じように各グループを作りまして、皆さんの意見、そしてそれを紙に書き出して、模造紙に貼っていくというKJ法の形ですけど、このやり方を市民大学生の方に知っていただいて、そして当日のフォーラムで活躍していただく為の事前勉強会ということで実施しております。それから昨年の場合ですと11月7日に視察研修会ということで、市のバスを利用して、今回は入間市の生涯学習を進める市民の会との交流ということで、市民大学生も何名かご参加いただきまして入間市を見学に行ってきた。市民の方が、行政の方と一緒に進む生涯学習の推進について色々とお聞きしながら、交流の場を広げてきました。また、終わった後は所沢航空記念館を見学させていただきました。25名の参加でしたが、入間市の研修と航空記念館の見学ということで研修を行いました。また12月1日に、</p>

	これも市民大学との合同研修会ですけれども、それに加えまして、社会教育3団体ということで、推進会議それから社会教育委員の方にもご案内していると思いますけれど、文教大学名誉教授の前学長でいらっしゃいます野島正也先生の講演をいただきました。演題は「地域・学校・家庭の連携、協働と生涯学習活動」というテーマで約1時間30分のご講演をいただきました。野島先生は市民大学の講師としていつもご協力いただいておりますので、皆さんご存知かと思いますが、このような形で研修会は年3回位の行事にふまえて、各々事前の部会を開いて準備をして、そちらの会に携わっているということです。以上です。
平議長	ありがとうございます。今のご報告につきまして、皆さんご意見等がございますか。
金子委員	2つあります。1つは広報関係で市内の学校紹介が始まりまして大変良いことだと思います。ただ、元号が変わっていくので、明治6年というと何年前か分からない。これからは、西暦も併せて入れておいたほうがよろしいと思います。久喜小は、146年前と書いてありますが、元号と西暦の両方を併記するほうが分かりやすいと思います。それから、研修関係はずっと参加しているのですが、研修は年3回ありますが、12月の研修会は推進会議委員にも通知はありましたが、前の2つは、推進会議委員には声をかけていましたか。
宮内委員	視察研修の通知はいついていないかもしれないですね。あくまでこれは、市民大学生と合同という形で実施していただきましたので、推進会議の委員さんには、いついてないかと思います。
金子委員	今後のことを考えると、推進会議にも参加する、しないは別として、声をかけていただければと思います。これは要望です。
宮内委員	はい、分かりました。
平議長	その他にございますか。いつも参加していただいた方、「まなびすと久喜」それから、「まなびすとフォーラム」にも色々参加していただいた方に常々お話しているのですけれど、生涯学習のそして市民大学の目的というのは、地域のリーダーをつくる。いつもやっていることが、まちづくりのひとつとして行っていることなのです。ここにおられる方々は、十分ご承知だと思いますけれど、それでも、まちづくりをするには、どうしたら良いのか、地域に帰って身近な皆さんと一緒に話し合いながらつくり上げるということが大事なことですけれど、例えば、市民大学で講義を受けた。「まなびすと久喜」で色々な刺激を受けた。「まなびすとフォーラム」で色々な意見を言った。それを地域のために生かしているのかというと、疑問に思います。これがない限り、まちづくりはできない。例えば今、久喜市では学校ごとに学校運営協議会というものを立ち上げてやっていますけれど、その方たちは、地域から参加しているわけですが、地域の人達がそのようなことを知って、地域のことを盛り上げていこうという気運がなければ、やはり生涯学習をやっても、なかなか初期の目的を達成したかということには、私には疑問があります。従って、ここにおられる方、特に自分の家、自分の近所、地域に帰ってから生涯学習について何でもいいですから、何かを呼びかけて一緒に行動することを是非、率先して行っていただくように推進会議議長としてお願いしたいと思います。その他、皆さんございますか。
山谷委員	感想だと思って聞いていただきたいと思います。今、私は市民大学1

	<p>年生ですけれど、来年度の生徒が集まらないと聞いて、私も自分の近所の方に声をかけているのですけれど、なかなか結果は良くはなってはいません。それで、この情報紙を見て、年2回発行の貴重な媒体ですが、ここに市民大学生の募集が全然掲載されていないのが、少し寂しいなどというのはあります。例えば市長さんのあいさつの所ですね。「市民大学」という言葉が4か所位でているのですね。それで、最後のところ少し空いているので、ここに「市民大学生を募集しています」と掲載するだけでも全然違うのかなと感じました。私も現役の頃、広報紙発行に携わっていたことがあるので、これを作るのは大変だということは、十分承知の上で感想を言ったということでございます。</p>
平議長	<p>ありがとうございます。山谷委員の意見のとおり、地域に帰ってみると、高齢の方がやっぱり多いわけですね。働き盛りの人との接点というのが、なかなか40代、50代の働き盛りの方との接点をもつ機会が班長会や自治会というところしかないのです。先ほど言いましたが、どうか接点もてる方は、是非、山谷委員がおっしゃったように市民大学の入学について、宣伝していただければありがたいと思います。その他ございませんか。</p>
井上委員	<p>私は下早見という場所に住んでいるのですが、その中で昨年10月にサロンを立ち上げました。そうしまして、皆さんと交流することがたくさんありまして、サロンといいますと高齢者が多いわけですね。そのような中で、近所のそば打ちの人達を巻きこんで、小・中学生から働き盛りの方たちも、皆さんに来ていただいて、そば打ち大会を開きましたところ、100名以上の人達に集まっていただきました。そのような中でも、「まなびすと」、市民大学、高齢者大学があります。出来るだけ、率先してやっていかないといけないと思ひまして、皆さんにお話しています。それで、「まなびすと久喜」に関してもポスターを掲載したり、出来るだけ、皆さんに浸透しないと分からないことが、たくさんあると思いますので、自分のできることというのは、介護福祉課で学びました、はつらつ体操もやっていますので、それは4月から65歳を対象にして、皆さん公募しまして、4月から私がリーダーとしてやります。私もここに入って7年になりますが、このような場所に出ないと分からないこともたくさんありますので、出来るだけ皆を巻きこんで、皆で前進して、皆で健康で過ごせるようにというのは、日々努力しております。そのような中で、やはり、私たちは、このような場にいるわけですから、率先して近隣に報告する義務もあると思います。若い人達、小学生のお母さん達方とも交流ができて、とてもスムーズなサロン、それから健康体操に向かって頑張っております。以上です。</p>
平議長	<p>ありがとうございました。本当に心強い紹介、行動ですよね。どうか皆さん、ここにおられる方、今、井上委員がおっしゃったことをされていると思いますけれど、もっと力強くやっていただいて、とにかく帰って近所の人、会った人に声をかけて、2、3人でいいので是非、市民大学、高齢者大学に入るように勧誘してください。よろしくお祈りします。</p>
飯島委員	<p>生涯学習センターは、本来なら今年の4月に出来る予定と聞いていたわけですが、残念ながら、それは出来ないということなので、具体的には、行政としてはどのように考えているのか、また我々としても早く建てていただいて、市民大学や高齢者大学は今、中央公民館で授業を行っているわけですが、それがこちらに移れば、中央公民館の利用方法</p>

	も変わってくると思うので、その辺を行政側はどのように考えているのかお聞かせいただきたいと思います。
平議長	先ほど、海老島課長からの話ですと、あまり変わらないということですが、現状は議会だより、全戸配布されていますけれども、そちらに掲載されていますように、もう撤回されて、議会でまた撤回されて、白紙に戻って、現状を簡単に言うと、何もない状態ということで今、また1年かけて新たに検討するというのが、大まかに言うと、そのような現状ではないかと思いますが、海老島課長少し補足をお願いします。
海老島課長	今、平議長がおっしゃっていただいたように、全部白紙です。生涯学習センターだけではなくて、この施設の活用ということもございますので、その辺のことも本当に白紙という形で、新年度アセットマネジメント課が出来まして、それは施設の統廃合とかそういうものを検討する課ですけれど、そこが中心になってやっていくのかなと考えております。ですから、ここで出来ますよと今の時点で申し上げられないというのが現状です。必ずいつかは出来るということは申し上げられない状態です。以上です。
平議長	ありがとうございます。ただ我々としては、最初の案ですね。原案に近いものにしていただきたいという要望は各団体で出しています。それは市長にも出しましたし、それから、議長そして、議会の皆さんにも出しておりますので、その認識は議会方々や市長や議長などはお持ちだと思っております。ですから我々は今後とも元の見直しの前の原案に近い形でやっていただきたいということを今後も粘り強くお願いしていくのが我々のこれからの活動かなと思っております。
山谷委員	ちょっとお尋ねします。ここは空いている部屋はたくさんありますよね。それは使えるのですか。例えば、お金をかけて立派な生涯学習センターを建てれば、それは、ありがたいし、嬉しいですけど、ただ、これだけの施設を検討に1年かけて、また、更に1年かけて2年かけて、何も利用しないのは、有効活用したコストを考えれば、すごい損失になってきます。そのことを考えれば、お金をかけて改造しなくても使えるスペースはたくさんありますから、ここで「まなびすとフォーラム」を行えば、駐車場はたくさんありますから、ここでやるのはいいと思います。生涯学習センターにしなくて学習活動に使えない、このような発想はやめて、空いているのですから、そこを教室や会場として使うと、そうすれば、2月に開催した「まなびすと久喜」ですね、仮にここで開催したとしたら、相当豊かにやれたかもしれないですね。だから、少し我々の発想も、あまり生涯学習センターにこだわらないで、柔軟に考えたらどうかと思います。これは私の個人の意見です。
平議長	ありがとうございました。個人の意見ではなくて、共感できる方はたくさんいると思います。
布施課長補佐兼係長	ありがとうございます。今の質問に答えになるか分かりませんが、まず、東京理科大学のキャンパスの跡地ですけど、もともと大学生が使用するというので建てられております。これを一般市民の方々が、使えるようにするためには、消防法であるとか建築基準法で改装工事をしないといけない、特に窓とか、そういうところは、変えなければならないというので、現在は、執務室があるところだけ使えるようになっていて、他のところは、まだ、その工事が入っておりませんので、空いているから使えるということが言えないところでございます。不特定多数

	<p>の一般市民が使うということで、基準がかなり上がってしまうそうです。そういうところを、見直しをして、工事が必要ということです。</p>
平議長	<p>はい。私も山谷委員のようなことを言ったのですが、そしたら、仮に幼稚園の待機児童などに使わせるとなると、幼稚園だったら幼稚園の基準の建物があって、それに理科大の教室が全部合っていれば問題はないわけです。合っていないので、そこを全部改修してから、使ってくださいということのようです。ここは、今、窓などは改修していますけれど、このままの窓では駄目なのです。やはり、先ほど布施課長補佐から説明があったように、不特定多数の人が使うので、消防法の基準や建築基準法があって、それをクリアしなければ、我々が使いたいと思っても、監督官庁が許可してくれないという事情があるようです。</p>
山谷委員	<p>ただ、市民集会室みたいに恒常的に使うのなら、今の考えも分かるのですが、一時的に使うのであれば、関係機関にきちんと文書を出して、説明すれば、今の時代、絶対に駄目ということは、正直ないと思います。だから、このようにやりますと計画をだして、しっかり示して、お願いでやると、そういった発想は必要かなということをつけ加えて私の提案としたいと思います。</p>
平議長	<p>山谷委員の気持ちは十分に分かります。それでは次の（２）平成31年度活動計画・活動方針につきまして、推進部の宮内委員長からご説明していただきたいと思います。</p>
宮内委員	<p>1ページに、私ども役員で決めました今年度の方針等について記載されておりますので、ご覧ください。（１）の「まなびすとフォーラム」については、後ほど明石委員から説明がありますので、（２）の平成31年度の方針・計画についてでございます。久喜市生涯学習推進計画の実践と検証を基本にして推進部の活動を実施しています。まなぶ・いかす・つなぐ・支えあうの基本を考えて事業を行っています。今年度のスローガン「久喜市まなびすとプランを推進しよう」ということを平成30・31年度のテーマとして行っています。従来から、学ぶ、ささえあう、地域が育つということで、地域と学校と家庭という形を中心にいろいろやってきました。「まなびすとフォーラム」については、平成30年度は、「支えあう（学校・家庭・地域）—「共助」の実践—ということで、地域と学校と家庭を繋ぐ何かがあるのではないかとということでフォーラムのほうでは、テーマにやらせていただいています。また、これに基づきまして、「まなびすと久喜」のテーマについても、今年度は「新たな学びの発見・広がる学びの輪」ということで、出来るだけ皆さんと活動ができる計画という形で、推進部の方針を進めています。2大イベントということで、推進部の活動をしています。なかなか活動そのものが主になってしましまして、実際にその内容があるのかどうかということについては、色々と疑問をもっているところです。なかなか、テーマとしてあげたものについて、間違いなくそのような形で活動しているのかどうか、そのことについては、疑問なところもでございます。また、方針の2番目にありますように、「生涯学習相談活動の実施」というテーマをあげてはいますが、こちらにつきましても、4つの祭り、久喜市民まつり、わしのみやコスモスフェスタ、菖蒲産業祭、栗橋やさしさ・ときめき祭りの各地区4つの祭りがありますけれど、各会場でテントを張りまして、生涯学習の相談ということと生涯学習の活動報告と、勧誘していますが、市民大学や高齢者大学に入学しようというところの活動まで出来ているかということ、少し疑問に思っ</p>

	<p>おります。それと推進部の新委員ということで、市民大学を卒業された方が、ほとんど入っていただいています。なかなか、推進部委員40名の募集でやっておりますが、現状は23名しかおりません。半分やっとなんかということですね。また、入っていただく方も80歳に近い方が、推進部の活動をしてはいますが、実際に推進会議に基づいて、推進部ということで活動してはいますが、やはり、動かないといけませんので、そのへんを考えると、若い方が入っていただくと、大変ありがたいと思っておりますが、活動自体もどうしても支障をきたしているところがございます。そのようなことから、今年度、市民大学を卒業する方については、推進部への勧誘を進めていきたいと考えています。また、他団体との交流というの、社会教育委員さん、そして推進会議さんと推進部と交流がありますが、この辺の形ももっと変えていかないとはいけません。今は、各々の活動だけで終わっている状況があるのではないかと考えています。スローガンを決めて、活動はしていますが、やはり、テーマの選定あるいは、活動内容についても、推進会議と連携して、これからの活動に生かしていければと思っております。また、年間計画については、次の2ページにありますように、来年度の計画ということで4月から活動しておりますが、主に中央公民館を主体に、各フォーラムなどについては、高校を借りるといって進めています。このような年間計画につきましても、皆さんと話し合いながら、変えていかないとはいけません。あと、会議の開始時間ということで、従来は夜の7時からでしたけれど、大分遅いという意見がありましたので、来年度からは、午後6時からということで、1時間早めてやっていきたいということで変更しました。とにかく、人員が少ないということが前提にあり、それから、この計画も3つのイベントですね、「まなびすとフォーラム」、「まなびすと久喜」それから、各4地区の祭りが主体の活動ということになっていきますので、実際にそれが生涯学習の推進になっているのかどうか、そして、「まなびすとフォーラム」の報告書は皆さんお読みになっていると思っておりますが、報告書を作りました。それだけで終わってしまっていて、その中身、それでは本当に皆さんからいただいた意見が、次に改善なり、提案されてですね、次回に反映されているのかというフォローが出来てないというのが、本当の反省事項でございます。やはり報告が済んだら、それでは本当にどうなったのかということ、やはり皆さんと検討する場があって、今回の反省事項を次回に生かそうという形にもっていかないとはいけません。推進部の活動としては思っています。なかなか、限られた時間でやっていますので、年間の計画としては、今のところは従来と同じ形で確認してやっていきたいと思っております。今後は、実際に行ったことに対して、反省の場を是非、活用して、このような会議の場で皆さんのご意見など伺って、次のときに役立てられたらと思っております。計画については、以上になっております。よろしくお願いいたします。</p>
平議長	<p>ありがとうございます、今、宮内委員長から、ご報告があったのですが、推進部の人数が少なく、全て自分たちでやらないといけません。このようなことをやるためにも、是非、ここにおられる方も一緒に推進部に入ってください、推進会議の委員兼推進部委員になっていただければと思います。皆さん今の宮内委員長のご報告のなかで、ご意見等ございますか。</p>

後藤委員	<p>この推進会議と推進部というのは、今から、何十年前からでしょうか。市のほうからの募集でしたよね、確か。それで今、市のほうはあまり関わっていないのですか。久喜市は、生涯学習が盛んだ方だと思いますが、皆さん私たちの自主的な活動を市のほうで、どれくらいバックアップしていただいているのか、そして、推進部定員40名のところが、23名という形でということは、生涯学習課としての考え方とかお聞かせいただければありがたいのですが。</p>
布施生涯学習課長補佐兼係長	<p>ありがとうございます。生涯学習推進に向けて、市それから教育委員会が一丸となって、取り組んでいかなければ、ならないというふうに考えております。この推進会議を開催するにあたり、議題について、例規に推進会議幹事会という組織がございまして、そちらで協議をすとなっております。しかし、私が、3年間生涯学習課にいますが、1度も開いたことがなかったと、前任者にも確認しましたが、行ったことはなかったということで、4月から組織の改編がありまして、例規を一部改正するというのもありましたので、今回の第2回会議を開催するにあたり、今回幹事会を開催いたしました。委員として推進部委員の中から3名ということで、平議長、宮内委員長、田沼委員にお願いいただき、市のほうも企画政策課の企画政策係長、それから自治振興課の市民活動推進係長、教育委員会の指導課の指導係長、生涯学習課の生涯学習係長、スポーツ振興係長が、お願いいただきまして、今回の議題について、協議したところでございます。やはり、この生涯学習推進会議を開いて、やっていくにあたり、市長部局の特に市民活動の推進というところの係の方には、このような活動をやっているということ分かっていただかないと、生涯学習の求めている、まなぶ、いかす、つなぐ、ささえあう。ということに広がっていかないのではないのかと感じています。お答えになっていないかもしれませんが、以上でございます。</p>
平議長	<p>我々の組織は、条例で定められた組織なわけです。ですから、生涯学習課がこういうものをつくろうとって簡単にできている組織ではないので、色々と課題はあります。今一番悩んでいるのが、この推進会議と推進部、やはり実行部隊が必要だということで、推進部が出来たということだったのですけれど、ここにおられる皆さんの委嘱式は9月になっています。ところが推進部の皆さんの委嘱は7月です。そこにもう2か月のギャップがあるわけです。そうしますと、実際には、推進会議の色々な意向を受けて、推進会議では、原嶋委員が中心になって作っていただいた「久喜市生涯学習推進計画」がありますが、これに基づいて、今、市の生涯学習は動いているわけです。しかし推進会議のメンバーがまだ組織されていないのに、これを推進部がやらなくてはならないというおかしな形になっています。そのようなことがありますが、実際に皆さんがやってくれているのが実情なわけです。ですからそのことを理解した上で、やっていただき助かっていますが、そのようなことを直すべきことは、直していかないとならないと私は常々思っております。</p>
後藤委員	<p>今はいろいろ、自治会にしても、PTAにしても役員をやる人がいないということが現状です。ですから、この推進会議と推進部を合併して、共に一緒に活動するというのが、ベストなのかなと私の考えですけど、そう思いました。以上です。</p>

平議長	<p>そのような意見も推進部と推進会議の中にも、出てきております。ただ、今、すぐに直しますというわけにはいきませんので、条例で定めているものですから、それを皆さんの意見を聞いて、このような形がいいのであろうというのをまとめて、生涯学習課のほうから、条例の改正というところまで、もっていくのだろうと最終的には思いますけれど、そういったことを少しずつ、やっていかないといけないと思っております。</p>
金子委員	<p>1点いいですか。長年関係しておりますので、前から感じていたのですが、合併してから、委嘱の時期が年度当初から遅れてしまったわけですね。そこで動きがある程度、スムーズにいかない、そういったこともあります。社会教育委員が6月、推進部が7月、推進会議が9月、もっと遅いのが11月の市民大学・高齢者大学運営委員会です。市大・高大の方が、11月に委嘱されて、もうその年度は、あとわずかしかなかったから、委嘱期間をもう1回整理するのも、大事ではないかと思っております。委嘱を受ける方が、皆さん納得すれば、例えば、6月任期の前に了承すれば、前に繰り上げることもできると思えますし、その辺の整理を検討していただければと思います。</p>
平議長	<p>今のご意見、皆がそろってという意見ですので、是非、ご検討のほどお願いしたいと思います。</p>
布施生涯学習課長補佐兼係長	<p>ありがとうございます。委嘱期間については、4月にスタートできたというのには、私たちも考えているところです。今回、市民大学・高齢者大学運営委員さんの委嘱期間につきましては、明確にさせていただきまして、この後、教育委員会の定例会に諮って、決定していただければと思っておりますが、2年の委嘱というので、どうしても、委嘱時期が後ろに繰り下がってしまうと、市大・高大の内容が分からないまま、プログラムのことを検討していただくとか、あとは卒業、修了の認定を検討していただくということが、難しいのではないのかということから、次の委員さんの任期からは、5月当初に委嘱をさせていただいて、翌々年度、2年後の4月までということに期間を変えさせていただこうと思っております。あと、推進会議の委員さんの方も、これも、規則のほうで、決まっております、それぞれ、公募の方もいらっしゃるのですが、それぞれの選出母体から、あげていただくということになっておりまして、推進部、社会教育委員から、こちらの推進会議に選出いただいているということもあり、全部一緒というわけではなく、順番に委嘱をさせていただいているのが、現状なのかなと思っております。ただ、やはり、年度スタートというのを考えたときには、合わせていきたいと考えておりますので、少し検討させていただければと思います。</p>
平議長	<p>それでは、宮内委員長からの、報告が終わりましたので、次に③の生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」について、明石委員からご説明をお願いします。</p>
明石委員	<p>今年の6月8日に開催する「まなびすとフォーラム」について、ご説明させていただきます。今回は、ここにおられる川島委員が担当でやられていたのですが、そこから、去年の7月に私が引き継ぎまして、一生懸命勉強した結果として、ここまで来ております。不手際な面はあると思っておりますけれど、これからもよろしくお願ひしたいと思います。皆さん方のお手元の4ページをご覧ください。そこの第10回まなびすとフォーラム「テーマ」検討の件でございます。過去、9回実施しています。そこに、第1回目から第9回目までのテーマが掲載されております。それ</p>

	<p>で、テーマについては、皆さんのアンケートからみて、色々ご意見ありますが、テーマ設定で検討する事項は、一応、教育基本法、これがベースになっているのかなと思ひながら、そこに書いております。1つは生涯学習の理念とそれから、学校、家庭、及び地域住民等の相互の連携協力と、この2つが基本的に大きく関わっているのだらうと思ひております。それと、次に、第9回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」これは、先日2月2日と3日に実施したときのフォーラムのなかで、「新たな学びの発見！広がる学びの輪」のテーマのもとで、文教大学の人間科学部の栗原先生から、基調講演をいただいて、その後、ディスカッション、そしてフォーラムでパネリストを迎えて、討議が行われました。そのような中からの「まなびすとフォーラム」のテーマを選定できればというように考えています。単独に考えるのではなくて、何かしらの繋がりの中で、うまく物事を繋いでいけたらと思ひました。さらに、世代を超えて、討議できる共通のテーマであること、よって、従来のテーマから新たなテーマで且つ「まなびすと久喜」のフォーラムでの討議内容も考慮して「第10回まなびすとフォーラム」のテーマを提案することとしたということでございます。3.「第10回「まなびすとフォーラム」の提案という形で、①あなたにとっての「新たな学び」とは、②あなたにとっての「自分づくり」とは、③あなたにとっての「地域とのつながり」とは、フォーラムをベースにした形でのテーマを選んでみました。今日、皆さん方に、これを見ていただきながら、方向付けをしていただければと思ひております。皆さん方も、6月8日のフォーラムに入っていていただいて、そのあたりを色々発言していただくということも期待して、このテーマを皆さん方に、ご説明したいと思ひた次第です。以上でございます。</p>
平議長	<p>ありがとうございます。「まなびすとフォーラム」は6月8日に行われるわけですが、今度の会場は県立鷲宮高校の予定です。そこでのテーマ、今、明石委員から説明がありましたけど、今回の「まなびすと久喜」のパネルディスカッションを基本に考えていただいたようでございます。そこで、皆さんから、テーマについてご意見がありましたら、お願いします。</p>
飯島委員	<p>この3つのテーマというのは非常に、全部良いのですが、今回は1つを選ぶということですね。ここにおられる委員さんもおそらく、どれを選んでもいいと思ひますけれど、私とすれば、生涯学習に関しては、「地域とのつながり」というほうが、私は宜しいのかなと思ひます。</p>
平議長	<p>ありがとうございます。実は③はですね、市民大学の募集要項にもありますように、市民大学の最終的な目的は地域のリーダーをつくるということがあるわけですね。そういう意味では、飯島委員が言われたことが、一番適しているのかなと、地域のつながりということは、結局、地域に入って、あなた自身が新たな学びを学ばないといけないうし、そして、そこで、自分づくりをしないといけないうし、そこに全部当てはまると思ひます。他にご意見ございますか。</p>
後藤委員	<p>③で賛成です。</p>
平議長	<p>ありがとうございます。古谷委員いかがですか。</p>

古谷委員	③で結構です。
平議長	山谷委員はいかがですか。
山谷委員	私は①の「新たな学び」ということに惹かれています。
平議長	分かりました。田沼委員はいかがですか。
田沼委員	「地域のつながり」やはり、そのあたりが私も良いのかなと思います。コミュニティ・スクールが各学校で始まっていますよね。そこで、地域の方々に、コミュニティ・スクールなどの理解なども深めていく、そのひとつの手段としても、地域にリーダーや核となるような人をつかって、そして、そこから輪を広げていくという、そのようなことも大切だと思います。そうすれば地域の住民の方もそれぞれ、コミュニティ・スクールの理解も深まり、学校との連携も深まっていくのかなと思いますので、そのような方向性で良いのかなと思います。
平議長	ありがとうございます。去年担当されました川島委員はいかがですか。
川島委員	どれを選びましても、心は同じなのですよね。入口は別でも、中身は同じになると思うのですね。③「地域とのつながり」になると、忙しい人はですね、学校・家庭・地域の地域というふうに捉えがちなのですね。地域というのは、つまりここでいう地域は広い意味での地域だと思うのですが、誤解を招くこともありますので、私は②が良いと思います。
平議長	ありがとうございました。その他にございますでしょうか。明石委員、その辺を参考に推進部のほうで決めるということですね。
明石委員	そうさせていただけるなら、準備のほうは、非常に楽だと思っております。
平議長	それでは、こういう意見があったということのを参考に、推進部で選定するというところでお願いしたいと思います。
金子委員	補足です。第7回、8回、9回が地域でずっと来ているのですね。そのようなことから、原点に戻って、私も②の「自分づくり」、ここに①の「新たな学び」も入っていますし、地域の発展もあるので、そのようなことを明石委員さん参考にしてください。
平議長	ありがとうございました。いずれにしても地域という主体性は誰なのか。そういったことは問題になってきますよね。地域というのは、特に学校で、今やっている学校運営協議会のなかで、学校、家庭、地域との三位一体と言われてはいますが、学校は先生、家庭は保護者、では地域は誰なのか。これが分からないのですよ。そういう意味でやっぱり勉強して、いただきたいということは、大事なことではないかなと思います。それでは(3)生涯学習を生かした「まちづくり」について、説明をお願いします。
布施生涯学習課長補佐兼係長	生涯学習を生かした「まちづくり」について、1つご提案というか、コミュニティ・スクール等の情報等を提供できればと思います。まず、コミュニティ・スクールについてでございますが、平成29年から久喜市内の小・中学校全てがコミュニティ・スクール、学校運営協議会を置く学校として、地域と共にある学校づくりを進めているところでございます。今年は学校運営協議会が置かれて、2年目となりましたので、熟

	<p>議から協働でというテーマでそれぞれの学校が、多くの学校応援団をどうにかしていかなければならないのではないかとこの協議を話し合われているという報告は受けております。また、昨年、10月には、コミュニティ・スクール全国大会というのが北海道三笠市で行われましたが、そこで、太東中学校の村田校長先生、それから飯島学校運営協議会の委員長さんが、久喜市を代表して行きまして、事例の発表をしてきたと伺っています。国のほうでも、やはり、埼玉県でいう学校応援団、これを地域学校協働本部というふうに名称を改めて、学校を支援する組織から、共に地域をつくっていく活動を行うというような、流れが出来てまいりました。地域の活動というのは、例えば、防災であるとか、福祉であるとか、健康であるとか、というところで、地域の活動の中に、学校支援というのが、含まれるのではないかと、ですので、学校運営協議会とこの地域学校協働本部これが、それぞれ地域の両輪となって、学校を動かしていく、支援できる組織になっているというふうに捉えています。このコミュニティ・スクールの中で小学校では、放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）もこの学校応援団の一部になるのかなと感じておりますが、それぞれ組織が違いますので、うまく繋いで生かしていく、そんな活動がコミュニティ・スクールを核に学校を支援するだけではなく、逆に子ども達が地域の活動に参加できる、そんな地域が活性化されるよう取り組みが、図れると地域づくりもますます、広がっていくのではないかとこのように考えております。</p> <p>あと、久喜市内では、子ども食堂というのが、鷺宮地区に1か所ありますが、今、国のデータでいきますと、7人に1人が貧困の子ども達であるというふうに言われております。クラスの中で、30人いれば、そのうちの4～5人が貧困の家庭で、その貧困の家庭をどこかで打破していかないと、連鎖して、繋がってまた、ますます若い世代の貧困が広がってしまいますというようなデータも出ておりますので、地域として、何ができるのかということ、やはり考えていかなければならないと思っております。以上です。</p>
平議長	<p>ありがとうございました。今のお話を参考に、コミュニティ・スクールなんかを中心に、地域というものを、私は再生しないといけないのかなと思います。昔の地域というのは、言わなくても誰かが困っていたら、皆さん寄って協力し合って、物事を解決できた。今は、そういう時代ではなくなってきた。どうか、地域というものを皆さんが中心になりまして、立て直すということにご尽力いただければと思います。ここにおられる方は、コーディネーターといいますか、推進会議のメンバーは、担っていただきたいのです。それが生涯学習で、ここにおられる方の仕事の一部ではないのかなと思います。皆さんから、あなたがいると助かると言われるように、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>その他に何か皆さんのほうからございませぬか。なければ時間となりましたので、閉会ということで、閉会のごあいさつを原嶋副議長からお願ひします。</p>
原嶋副議長	<閉会の言葉>
尾柴主任	<p>皆様、長時間にわたりありがとうございました。これもちまして、平成30年度第2回久喜市生涯学習推進会議を閉会とさせていただきます。</p>

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためここに署名する。

平成31年3月20日

議 長 平 忠昭